



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社スペース 上場取引所 東
コード番号 9622 URL <https://www.space-tokyo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐々木 靖浩
問合せ先責任者 (役職名)取締役 常務執行役員経営管理本部長 (氏名)松尾 信幸 (TEL)03(3669)4008
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	36,843	7.8	1,436	△4.5	1,463	△4.0	841	△13.0
2022年12月期第3四半期	34,177	27.1	1,503	37.6	1,523	36.7	966	36.9

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,165百万円(25.0%) 2022年12月期第3四半期 932百万円(24.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年12月期第3四半期	34	31	-	-
2022年12月期第3四半期	39	27	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	36,608	29,890	81.5
2022年12月期	35,404	29,596	83.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 29,843百万円 2022年12月期 29,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年12月期	-	18.00	-	18.00	36.00	-
2023年12月期	-	18.00	-	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	-	-	18.00	36.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	48,000	2.8	2,220	5.9	2,230	4.9	1,470	5.4	59	79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	26,600,319株	2022年12月期	26,600,319株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,096,553株	2022年12月期	2,075,937株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	24,510,250株	2022年12月期3Q	24,601,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来の予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(収益認識関係)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年9月30日)における当社グループ(当社及び当社の関係会社)を取り巻く事業環境は、建設資材価格の高止まりによるコスト上昇や同業他社との価格競争の激化により収益の圧迫を受けるなど、依然として厳しい状況が続きました。

加えて建築費の高騰による出店計画の先送り・中止等が発生しているものの、リニューアル案件については増加傾向にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置づけが変わったことにより、個人消費、インバウンド消費、企業の設備投資いずれも持ち直しの動きが続いており、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の下、当社グループは2023年度を初年度とする新たな中期経営計画「進化発展」を策定し、「自ら考え、行動し、成果にこだわる」「オールスペースが持つ可能性を追求する」「一人ひとりが経営者意識を持って行動する」という三つの方針の下、営業利益率5%、売上高成長率5%、全社員活躍の実現、顧客提供価値の向上を目標に掲げ、企業価値向上に向けて事業活動を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は次の通りとなりました。

(売上高)

売上高は368億43百万円(前年同四半期比7.8%増)となりました。上述した新型コロナウイルス感染症による影響からの持ち直しの動きが見られたことや、商業施設分野をはじめとする大型案件の獲得により、前年同四半期を上回る結果となりました。

(営業利益)

営業利益は14億36百万円(前年同四半期比4.5%減)となりました。利益確保に注力し営業活動を進めたことから、売上総利益額の増加に加え売上総利益率も上昇いたしましたが、当第2四半期連結会計期間に大型案件において貸倒引当金を計上したことから販売費及び一般管理費が増加した影響で減益となりました。

(経常利益)

営業外収益に受取配当金等、営業外費用に支払利息等を計上した結果、経常利益は14億63百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

税金等調整前四半期純利益に法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億41百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。この減益要因の一つとして、当第2四半期連結会計期間に貸倒引当金を計上したことによる税効果会計への影響が挙げられます。

なお、当社グループはディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて、市場分野別に記載しております。

市場分野別の売上高は次の通りであります。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 1月 1日 至 2022年 9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)		増減	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	増減率 (%)
複合商業施設 ・総合スーパー	7,647	22.4	10,166	27.6	2,518	32.9
食品スーパー ・コンビニエンスストア	3,903	11.4	3,794	10.3	△109	△2.8
各種専門店	11,511	33.7	12,321	33.4	809	7.0
飲食店	3,960	11.6	4,013	10.9	52	1.3
サービス等	7,153	20.9	6,548	17.8	△605	△8.5
合計	34,177	100.0	36,843	100.0	2,666	7.8

- ・複合商業施設・総合スーパー分野では、商業施設において大型案件の受注が増加したことから、売上高は前年同四半期から大きく増加いたしました。
- ・食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、食品スーパーにおいてコロナ禍での巣ごもり需要の反動減のほか、昨今の物価高騰やコストの増加など、外部環境の変化による利益圧迫から顧客の投資抑制があり、前年同四半期を下回る売上高となりました。
- ・各種専門店分野では、食物販店舗、服飾雑貨店舗において受注が堅調に推移したことから、前年同四半期を上回る売上高となりました。
- ・飲食店分野では、前年同様アフターコロナに向けた受注が堅調に推移したことから、前年同四半期より微増いたしました。
- ・サービス等分野では、エンターテインメント施設やオフィス関連が前年同四半期に好調だった反動から、前年同四半期を下回る売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、366億8百万円（前連結会計年度末比12億4百万円増）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億75百万円減少し、236億49百万円となりました。主な要因は、完成工事未収入金及び契約資産が11億11百万円増加したものの、現金及び預金が19億18百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20億80百万円増加し、129億59百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が1億34百万円減少したものの、福岡本部ビルの取得等により有形固定資産が9億78百万円、投資その他の資産のうち、その他に含まれる長期性預金が10億円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、67億18百万円（前連結会計年度末比9億10百万円増）となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億51百万円増加し、60億56百万円となりました。主な要因は、工事未払金が5億96百万円、賞与引当金が2億64百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、6億61百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が29百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、298億90百万円（前連結会計年度末比2億93百万円増）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億48百万円、退職給付に係る調整累計額が1億30百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日付「2022年12月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,047,017	12,128,096
受取手形	759,253	401,286
完成工事未収入金及び契約資産	8,348,804	9,460,029
未成工事支出金	1,136,907	1,772,385
材料及び貯蔵品	14,013	11,664
その他	223,715	316,700
貸倒引当金	△4,970	△440,804
流動資産合計	24,524,742	23,649,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,459,927	2,771,426
土地	6,107,911	6,746,128
その他(純額)	128,949	157,816
有形固定資産合計	8,696,789	9,675,371
無形固定資産		
その他	493,541	359,078
無形固定資産合計	493,541	359,078
投資その他の資産		
その他	1,691,707	2,927,290
貸倒引当金	△2,744	△2,168
投資その他の資産合計	1,688,963	2,925,121
固定資産合計	10,879,293	12,959,571
資産合計	35,404,036	36,608,929
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,707,229	3,303,710
未払法人税等	521,750	437,015
賞与引当金	98,883	363,875
完成工事補償引当金	42,894	45,059
受注損失引当金	7,263	-
その他	1,727,794	1,907,314
流動負債合計	5,105,816	6,056,975
固定負債		
長期借入金	60,000	60,000
退職給付に係る負債	297,127	267,572
長期未払金	316,077	316,077
その他	28,176	17,487
固定負債合計	701,381	661,137
負債合計	5,807,197	6,718,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,537	3,395,537
資本剰余金	3,607,397	3,610,221
利益剰余金	23,937,672	23,896,140
自己株式	△1,461,295	△1,452,838
株主資本合計	29,479,311	29,449,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	197,569	346,452
為替換算調整勘定	59,386	91,138
退職給付に係る調整累計額	△173,481	△43,370
その他の包括利益累計額合計	83,475	394,220
非支配株主持分	34,052	47,535
純資産合計	29,596,839	29,890,817
負債純資産合計	35,404,036	36,608,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日)
売上高		
完成工事高	34,177,379	36,843,628
売上原価		
完成工事原価	30,681,925	32,697,443
売上総利益	3,495,453	4,146,185
販売費及び一般管理費	1,991,460	2,709,218
営業利益	1,503,993	1,436,966
営業外収益		
受取利息	768	6,031
受取配当金	10,726	11,052
為替差益	1,095	6,370
その他	14,737	11,486
営業外収益合計	27,327	34,940
営業外費用		
支払利息	4,075	3,066
支払手数料	3,285	1,542
その他	614	4,151
営業外費用合計	7,975	8,760
経常利益	1,523,345	1,463,146
税金等調整前四半期純利益	1,523,345	1,463,146
法人税、住民税及び事業税	641,140	751,310
法人税等調整額	△95,111	△142,709
法人税等合計	546,029	608,601
四半期純利益	977,316	854,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,988	13,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	966,327	841,061

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	977,316	854,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,941	148,882
為替換算調整勘定	61,693	31,752
退職給付に係る調整額	△97,727	130,110
その他の包括利益合計	△44,976	310,745
四半期包括利益	932,339	1,165,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,351	1,151,807
非支配株主に係る四半期包括利益	10,988	13,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ディスプレイ事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下の通りであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年 1月 1日 至 2022年 9月30日)

制作品別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
内装・外装工事	12,571,602	17,855,158	30,426,760
イベント・展示工事	621	13,342	13,963
建築工事	793,781	140,823	934,604
メンテナンス工事	56,100	820,793	876,893
コンサルティング・企画・設計・内装監理	1,337,771	339,610	1,677,382
その他	26,151	221,623	247,775
合計	14,786,028	19,391,350	34,177,379

市場分野別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
複合商業施設・総合スーパー	4,884,097	2,763,667	7,647,765
食品スーパー・コンビニエンスストア	398,472	3,505,141	3,903,614
各種専門店	4,440,042	7,071,590	11,511,632
飲食店	1,224,115	2,736,553	3,960,668
サービス等	3,839,300	3,314,397	7,153,698
合計	14,786,028	19,391,350	34,177,379

(注) 期間がごく短い工事や案件については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識しており、一時点で移転される財として集計しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年 1月 1日 至 2023年 9月30日)

制作品別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
内装・外装工事	13,808,512	19,564,813	33,373,326
イベント・展示工事	681	30,035	30,717
建築工事	265,958	232,772	498,731
メンテナンス工事	11,020	871,664	882,684
コンサルティング・企画・設計・内装監理	1,470,112	367,230	1,837,342
その他	27,622	193,204	220,827
合計	15,583,908	21,259,720	36,843,628

市場分野別売上高

(単位:千円)

	一定期間にわたり 移転される財	一時点で 移転される財	合計
複合商業施設・総合スーパー	6,062,803	4,103,520	10,166,323
食品スーパー・コンビニエンスストア	217,882	3,576,535	3,794,418
各種専門店	4,611,508	7,709,613	12,321,121
飲食店	1,415,038	2,598,478	4,013,516
サービス等	3,276,675	3,271,572	6,548,247
合計	15,583,908	21,259,720	36,843,628

(注) 期間がごく短い工事や案件については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識しており、一時点で移転される財として集計しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。